

単 位 数	教 科 担 当 者	使用教科書・補助教材・その他
2	勝田 不学	「国語便覧」 (浜島書店) 「新現代文単語」 (いっずな書店) 「ちくま評論選」 (筑摩書房) ほか
必 履 修 学校必履修 ○必修選択 ○自由選択		

#### ◆学習の目標

- ・現代社会の様々な現象に課題意識を持ち、それらに対し深く考え、自分の意見を筋道を立てて適切に表現する。
- ・大学入試問題（小論文形式）に対応する論理的な論述力を身に付ける。

#### ◆主な学習内容・方法

- (1) 課題文の要旨を読み取り適切に要約する。
- (2) テーマに沿った自分の意見を具体例とともにまとめる。
- (3) 主語述語の整合性、接続表現・指示表現の適切な使用、構成・展開などに留意して、簡潔で分かりやすい文章を書く。
- (4) 多様な出題に対する適応力を養うために、種々様々な形式・テーマの課題に取り組む。
- (5) 他の人の文章にふれることで、視野を広げ、思索を深める。

#### ◆到達目標と観点別評価の評価規準

##### 〔観点別評価の評価規準〕

##### ○知識・技能

- ・課題文のテーマを現代社会の諸問題に結びつけて考えることができる。
- ・各教科で学習してきた知識を横断的に用いて、適切な語句や表現で文章を書くことができる。

##### ○思考・判断・表現

- ・自分の意見を論理的、効果的に表現することができる。
- ・自分の主張に対する反論や、異なるケースを考えることができる。
- ・限られた文字数で表現する場合に、適切な情報を取捨選択できる。

##### ○主体的に学習に取り組む態度

- ・課題文のテーマや現代社会の課題に関心を持ち、自分の意見を展開させることができる。
- ・授業内の話し合い、学び合いで積極的に取り組むことができる。
- ・他者の書いた文章を読み、互いに意見交換をし、考え表現力を深めることができる。

◆年間予定授業時間

予定時数	70 時間	1 学期 ( 26 時間)	2 学期 ( 28 時間)	3 学期 ( 16 時間)
------	-------	---------------	---------------	---------------

◆学習のしかた（予習・復習・宿題・課題・その他）

常日頃から社会に目を向け、新聞・新書・選書ほかの文章に触れて自分の問題意識を養う。  
時事問題ばかりでなく、一般的な哲学の問題等に自分の考えをもつようにつとめる。  
授業で課題に取り組み、実際に小論文を書いてみる。  
他の人が書いた文章と比較していく中で、自分の文章の特徴・癖を知り、欠点を改善する。

◆授業計画

学期	月	単元・教材等	時間	学習の内容	学習到達目標
1	4	要約・記述問題の練習	8	・小論文を書くに当たって、文章を的確に書く訓練を行う。	・課題文の段落ごとに内容をまとめながら、本文全体の要旨を理解することができる。
	5	小論文入門 「読む」から「書く」へ	6	・要約練習を行って、文章の構成をつかむ訓練を行う。	・本文の表現を利用するだけでなく、自分の言葉で要約ができる。
	6		8	・構成を考えながら、論理的な文章を書く訓練を行う。	・言葉を正確に用いて、客観的な文章が書ける。
	7		4	・同一テーマで書いた文章を互いに読み合い、題材や構成の工夫を学ぶ。	・主語述語の整合性、接続表現や指示表現の適切な使用などに留意して、簡潔で分かりやすい文章が書ける。
2	8	大学の過去問を使つての演習  入試問題演習	4	・様々な形式の出題に対応する読み取り（写真・絵・データ・グラフなどを課題とした小論文の対策）を行う。	・図から文章へ、データから文章への流れをたどり、読み取り解釈ができる。
	9		6	・頻出テーマに一通り取り組む。	・時間配分を意識して文章が書ける。
	10		6	・各個人の実際に予想される問題について書いてみる。	・論述と添削を繰り返す中で、無駄のない表現、効果的な表現ができるようになる。
	11		6	・互いの論述を見合つて、優れた点を吸収する。	
3	12	入試問題演習	6	・個別指導	
	1		16	個別指導	・制限時間内で、設問に正対している内容の文章を書くことができる。
	2				・自分の意見を具体例や根拠とともに述べることができる。
	3				